農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries

農林水産省
大臣官房統計部

令和元年 12 月 10 日公表

令和元年産水陸稲の収穫量

－　水稲の収穫量（主食用）は 726 万 1,000 t　－

【調査結果の概要】

1　令和元年産水稲の作付面積(子実用)は 146 万 9,000haで、前年産に比べ 1,000ha 減少した。うち主食用作付見込面積は 137 万 9,000haで、前年産に比べ 7,000ha減少した。

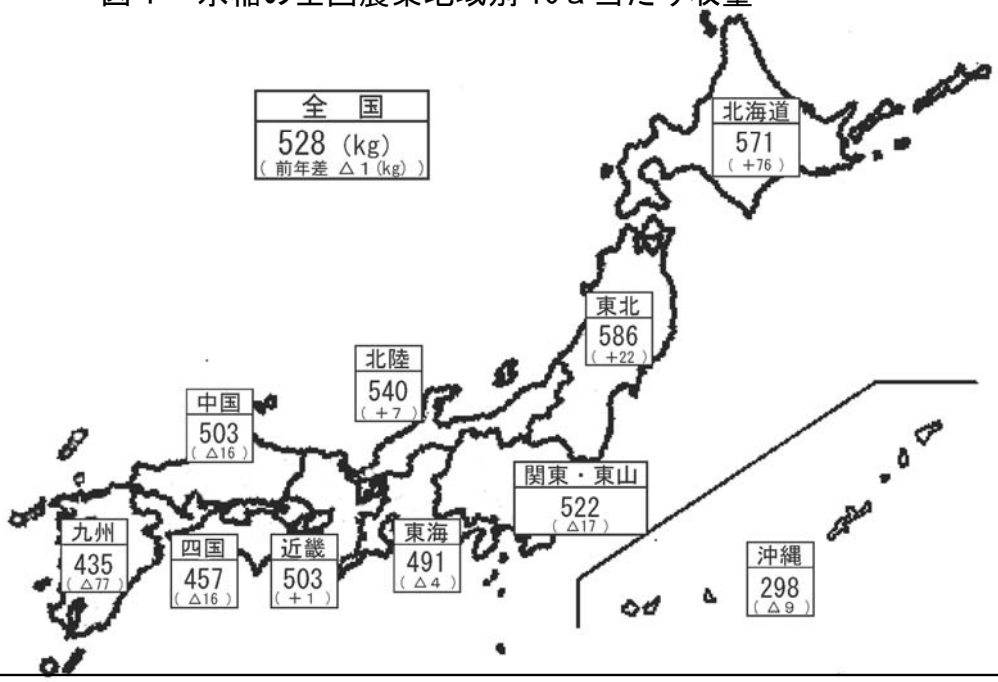
2　全国の 10 a 当たり収量は 528kg（1.70 ㎜のふるい目幅ベース。10 a 当たり平年収量 533 kg。）となり、前年産に比べ 1 kgの減少が見込まれる。

3　以上の結果、収穫量（子実用）は 776 万 2,000 t で、前年産に比べ 1 万 8,000 t の減少が見込まれる。このうち、主食用の収穫量は 726 万 1,000 t で、前年産に比べ 6 万 6,000 t の減少が見込まれる。

4　なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の 10 a 当たり収量は 514 kg（10 a 当たり平年収量 519 kg）となり、作況指数は 99 となる見込み。

5　令和元年産陸稲の作付面積（子実用）は 702haで、10 a 当たり収量は 228kg（10 a 当たり平均収量対比 97%）となり、収穫量（子実用）は 1,600 t となった。

図 1　水稲の全国農業地域別 10 a 当たり収量



○　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
○　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
○　10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70 ㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
○　沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のＵＲＬから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

◎　水陸稲調査結果の主な利活用

- 　主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成６年法律第 113 号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- 　食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- 　米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- 　農業保険法（昭和 22 年法律第 185 号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎　累年データ

水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）

年　産	水陸稲計		水稲					
						参考		
	作付面積（子実用）	収穫量（子実用）	作付面積（子実用）	10ａ当たり収量	収穫量（子実用）	主食用作付面積	収穫量（主食用）	作況指数
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	
平成11年産	1,788,000	9,175,000	1,780,000	515	9,159,000	…	…	101
12	1,770,000	9,490,000	1,763,000	537	9,472,000	…	…	104
13	1,706,000	9,057,000	1,700,000	532	9,048,000	…	…	103
14	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,599,000	8,607,000	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,575,000	8,439,000	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,506,000	7,989,000	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,479,000	8,044,000	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,466,000	7,824,000	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	7,782,000	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元年産（概数値）	**1,470,000**	**7,764,000**	**1,469,000**	**528**	**7,762,000**	**1,379,000**	**7,261,000**	**99**

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：１　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下同じ。）。

２　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である（以下同じ。）。

３　10ａ当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下同じ。）。

４　作況指数とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率であり、平成27年産からは全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。なお、平成26年産までは1.70㎜のふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下同じ。）。

５　「…」は、調査を欠くことを示している。

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70㎜ 以上で選別された玄米の重量としている（23 ページ【参考１】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表１　ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

単位：%

年　産	計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以　上
平成26年産	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元年産(概数値)	**100.0**	**0.7**	**1.4**	**1.9**	**2.8**	**15.3**	**77.9**
平 均 値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.5	77.5
対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.2	0.4

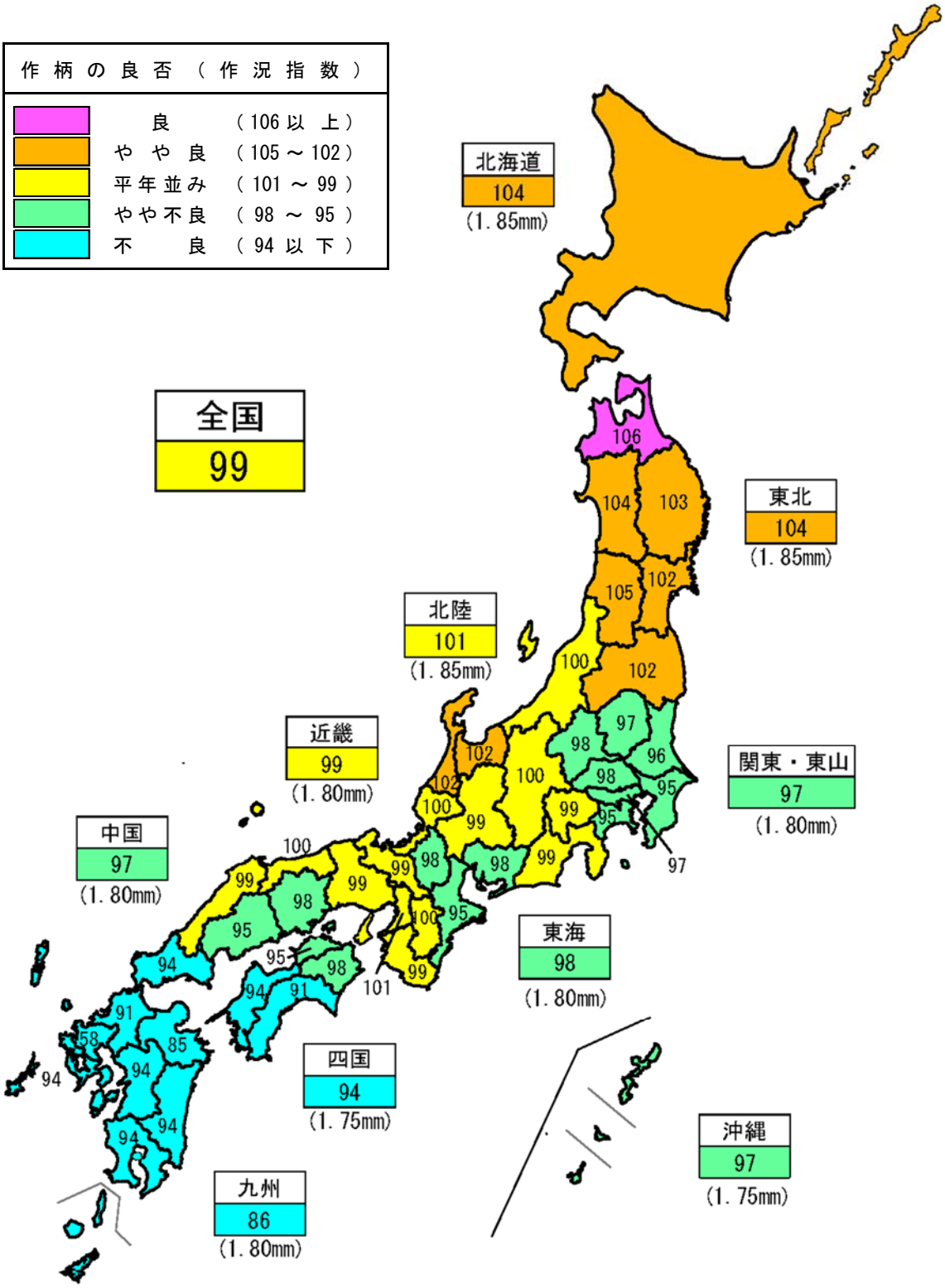
注：１　平均値は、直近５か年の重量割合の平均である（以下同じ。）。
　　２　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

表２　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年　産		単位	1.70㎜ 以　上	1.75㎜ 以　上	1.80㎜ 以　上	1.85㎜ 以　上	1.90㎜ 以　上	2.00㎜ 以　上
平成26年産	10ａ当たり収量	kg	536	532	524	513	499	420
	収穫量(子実用)	t	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27	10ａ当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量(子実用)	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10ａ当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量(子実用)	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10ａ当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量(子実用)	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10ａ当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量(子実用)	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元年産（概数値）	**10ａ当たり収量**	kg	**528**	**524**	**517**	**507**	**492**	**411**
	収穫量(子実用)	t	**7,762,000**	**7,708,000**	**7,599,000**	**7,452,000**	**7,234,000**	**6,047,000**
	対前年比	%	100	100	100	101	101	105

注：１　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである（以下同じ。）。
　　２　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである（以下同じ。）。

図２　全国農業地域・都道府県別作況指数
【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



注：１　全国農業地域の作況指数の下に記載されている括弧内の数値は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅である。

２　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

【調査結果】

1　作柄概況（統計表 10、11、22 ページ参照）

(1)　水　稲

ア　水稲の作付面積（子実用）は 146 万 9,000ha（前年産に比べ 1,000ha 減少）で、このうち、主食用作付面積は 137 万 9,000ha（前年産に比べ 7,000ha 減少）となった。

イ　水稲の全国の 10 a 当たり収量は 528kg（前年産に比べ 1 kg 減少）が見込まれる。
　これは、北海道、東北及び北陸では、全もみ数が平年以上に確保され、登熟も順調に推移したことにより、作柄は平年以上となったものの、その他の地域では、7 月上中旬の低温・日照不足の影響により、全もみ数がやや少ない地域があることに加え、登熟も 8 月中下旬の日照不足、その後の台風による潮風害等やウンカ等病害虫の影響があったことにより、作柄が平年を下回る地域が多いためである。

ウ　地域別の 10 a 当たり収量は、北海道は 571kg（前年産に比べ 76kg 増加）、東北は 586kg（同 22kg 増加）、北陸は 540kg（同 7 kg 増加）、関東・東山は 522kg（同 17kg 減少）、東海は 491kg（同 4 kg 減少）、近畿は 503kg（同 1 kg 増加）、中国は 503kg（同 16kg 減少）、四国は 457kg（同 16kg 減少）、九州は 435kg（同 77kg 減少）、沖縄は 298kg（同 9 kg 減少）となった。

エ　以上の結果、収穫量（子実用）は 776 万 2,000 t（前年産に比べ 1 万 8,000t 減少）が見込まれる。このうち、主食用作付面積に 10 a 当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、726 万 1,000 t（前年産に比べ 6 万 6,000t 減少）が見込まれる。

(2)　陸　稲

陸稲の作付面積（子実用）は 702ha で、10 a 当たり収量は 228kg（10 a 当たり平均収量対比 97%）となり、収穫量（子実用）は 1,600 t となった。

表３　令和元年産水稲の作付面積及び収穫量

全国農業地域	作付面積（子実用）			10 a 当たり収量		収穫量（子実用）			参考		
	実数	前年産との比較		実数	前年産との比較	実数	前年産との比較		主食用作付面積	収穫量（主食用）	作況指数
	①	対差	対比	②	対差	③＝①×②	対差	対比	④	⑤＝④×②	
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全国	1,469,000	△ 1,000	100	528	△ 1	7,762,000	△ 18,000	100	1,379,000	7,261,000	99
北海道	103,000	△ 1,000	99	571	76	588,100	73,300	114	97,000	553,900	104
東北	382,000	2,900	101	586	22	2,239,000	102,000	105	344,600	2,015,000	104
北陸	206,500	900	100	540	7	1,115,000	19,000	102	186,400	1,007,000	101
関東・東山	271,100	800	100	522	△ 17	1,414,000	△ 43,000	97	258,400	1,348,000	97
東海	93,100	△ 300	100	491	△ 4	457,100	△ 5,300	99	90,500	444,800	98
近畿	102,600	△ 500	100	503	1	516,400	△ 1,100	100	99,000	498,000	99
中国	102,100	△ 1,600	98	503	△ 16	513,200	△ 24,600	95	99,400	499,800	97
四国	48,300	△ 1,000	98	457	△ 16	220,700	△ 12,700	95	47,800	218,500	94
九州	160,000	△ 400	100	435	△ 77	696,400	△ 124,900	85	155,100	674,300	86
沖縄	677	△ 39	95	298	△ 9	2,020	△ 180	92	665	1,980	97

注：収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

2　水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）等（統計表 14～19 ページ参照）

令和元年産水稲のふるい目幅別重量分布状況は、全国平均の1.85㎜以上の玄米の重量割合は96.0％と、直近５か年平均値に比べ0.2ポイント高くなっている。

表４　ふるい目幅別重量分布状況

単位：％

全国 農業地域	区分	計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以上
全国	重量割合	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
	平均値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.5	77.5
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.2	0.4
北海道	重量割合	100.0	0.5	1.0	1.3	2.4	13.3	81.5
(1.85㎜)	平均値	100.0	0.6	1.0	1.3	1.8	10.3	85.0
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.0	0.0	0.6	3.0	△ 3.5
東北	重量割合	100.0	0.6	1.1	1.5	2.2	12.8	81.8
(1.85㎜)	平均値	100.0	0.6	1.1	1.6	2.3	13.1	81.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	0.5
北陸	重量割合	100.0	0.5	0.9	1.2	2.0	12.0	83.4
(1.85㎜)	平均値	100.0	0.6	1.2	1.7	2.5	14.6	79.4
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 2.6	4.0
関東･東山	重量割合	100.0	0.8	1.3	1.9	3.0	18.3	74.7
(1.80㎜)	平均値	100.0	0.9	1.5	2.3	3.4	19.9	72.0
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.4	△ 1.6	2.7
東海	重量割合	100.0	0.8	1.3	2.0	2.6	13.4	79.9
(1.80㎜)	平均値	100.0	0.8	1.3	1.9	2.3	12.9	80.8
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.5	△ 0.9
近畿	重量割合	100.0	0.8	1.6	1.9	2.6	14.3	78.8
(1.80㎜)	平均値	100.0	0.9	1.5	2.1	2.6	13.9	79.0
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.1	△ 0.2	0.0	0.4	△ 0.2
中国	重量割合	100.0	0.9	1.6	2.2	2.8	15.6	76.9
(1.80㎜)	平均値	100.0	0.8	1.3	2.0	2.4	13.2	80.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.3	0.2	0.4	2.4	△ 3.4
四国	重量割合	100.0	1.3	2.2	3.0	3.9	19.4	70.2
(1.75㎜)	平均値	100.0	1.0	1.8	2.6	3.5	18.1	73.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.3	0.4	0.4	0.4	1.3	△ 2.8
九州	重量割合	100.0	1.3	2.7	3.7	5.3	25.0	62.0
(1.80㎜)	平均値	100.0	1.3	2.4	3.3	4.5	22.4	66.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.3	0.4	0.8	2.6	△ 4.1
沖縄	重量割合	100.0	0.7	1.6	2.4	3.8	17.6	73.9
(1.75㎜)	平均値	100.0	0.9	1.8	2.3	3.1	13.5	78.4
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.2	0.1	0.7	4.1	△ 4.5

注：　全国農業地域名の下に記載されている括弧内の数値は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅である（以下同じ。）。

表５　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）

全国 農業地域	区分	単位	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
全国	10ａ当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量(子実用)	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
北海道 (1.85mm)	10ａ当たり収量	kg	571	568	562	555	541	465
	収穫量(子実用)	t	588,100	585,200	579,300	571,600	557,500	479,300
東北 (1.85mm)	10ａ当たり収量	kg	586	582	576	567	554	479
	収穫量(子実用)	t	2,239,000	2,226,000	2,201,000	2,167,000	2,118,000	1,832,000
北陸 (1.85mm)	10ａ当たり収量	kg	540	537	532	526	515	450
	収穫量(子実用)	t	1,115,000	1,109,000	1,099,000	1,086,000	1,064,000	929,900
関東･東山 (1.80mm)	10ａ当たり収量	kg	522	518	511	501	485	390
	収穫量(子実用)	t	1,414,000	1,403,000	1,384,000	1,357,000	1,315,000	1,056,000
東海 (1.80mm)	10ａ当たり収量	kg	491	487	481	471	458	392
	収穫量(子実用)	t	457,100	453,400	447,500	438,400	426,500	365,200
近畿 (1.80mm)	10ａ当たり収量	kg	503	499	491	481	468	396
	収穫量(子実用)	t	516,400	512,300	504,000	494,200	480,800	406,900
中国 (1.80mm)	10ａ当たり収量	kg	503	498	490	479	465	387
	収穫量(子実用)	t	513,200	508,600	500,400	489,100	474,700	394,700
四国 (1.75mm)	10ａ当たり収量	kg	457	451	441	427	409	321
	収穫量(子実用)	t	220,700	217,800	213,000	206,400	197,700	154,900
九州 (1.80mm)	10ａ当たり収量	kg	435	429	418	402	378	270
	収穫量(子実用)	t	696,400	687,300	668,500	642,800	605,900	431,800
沖縄 (1.75mm)	10ａ当たり収量	kg	298	296	291	284	273	220
	収穫量(子実用)	t	2,020	2,010	1,970	1,930	1,850	1,490

表６　水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布

【令和元年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞取り結果】

単位：％

全国 農業地域	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
全国	100.0	0.2	2.1	25.3	37.4	34.3	0.7
北海道	100.0	0.2	－	－	22.1	74.2	3.5
東北	100.0	－	0.0	0.6	17.3	82.0	0.1
北陸	100.0	0.1	0.5	1.6	36.9	59.5	1.4
関東・東山	100.0	0.2	4.9	41.7	50.6	2.1	0.5
東海	100.0	0.5	2.7	27.4	57.6	11.3	0.5
近畿	100.0	0.4	5.0	44.2	29.6	18.8	2.0
中国	100.0	0.2	0.3	19.1	58.5	21.6	0.3
四国	100.0	0.3	5.7	73.6	20.2	0.2	－
九州	100.0	0.2	1.9	45.6	45.8	6.4	0.1
沖縄	100.0	－	33.3	66.7	－	－	－

注：　農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稲作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

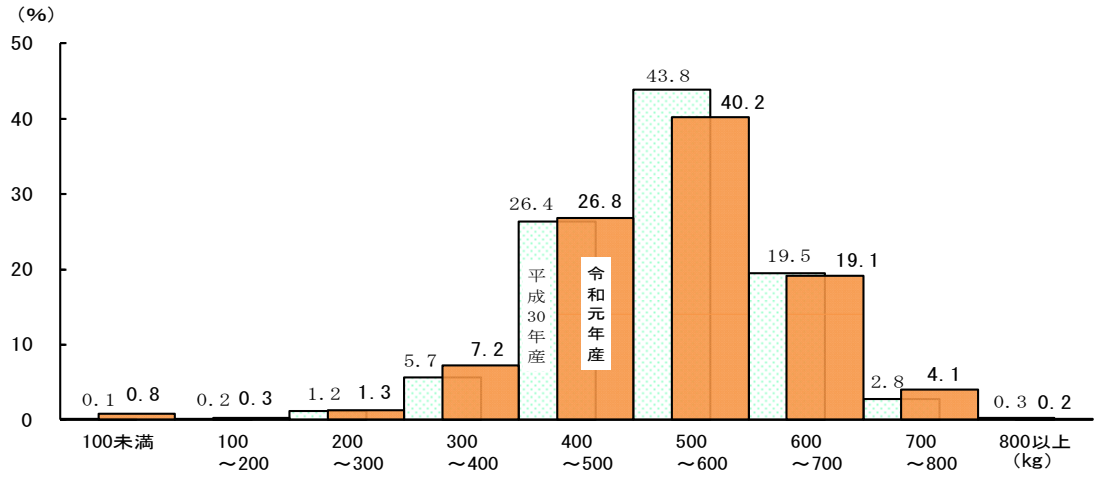
表７　令和元年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり玄米重の分布状況

単位：％

全国農業地域	区分	計	100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800kg以上
全国	筆数割合	100.0	0.8	0.3	1.3	7.2	26.8	40.2	19.1	4.1	0.2
	前年値	100.0	0.1	0.2	1.2	5.7	26.4	43.8	19.5	2.8	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.7	0.1	0.1	1.5	0.4	△ 3.6	△ 0.4	1.3	△ 0.1
北海道	筆数割合	100.0	－	－	0.2	1.6	13.5	47.9	33.3	3.3	0.2
	前年値	100.0	0.3	0.2	1.3	7.3	36.0	45.2	9.2	0.5	－
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.3	△ 0.2	△ 1.1	△ 5.7	△ 22.5	2.7	24.1	2.8	0.2
東北	筆数割合	100.0	0.0	0.1	0.5	1.6	10.0	37.1	38.7	11.2	0.8
	前年値	100.0	－	－	0.6	2.0	15.0	42.9	33.2	6.0	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 5.0	△ 5.8	5.5	5.2	0.5
北陸	筆数割合	100.0	0.1	－	1.3	3.9	18.9	50.9	21.9	2.8	0.2
	前年値	100.0	0.3	0.1	0.8	4.2	22.4	49.6	20.2	2.1	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.1	0.5	△ 0.3	△ 3.5	1.3	1.7	0.7	△ 0.1
関東・東山	筆数割合	100.0	0.1	0.1	0.9	6.1	26.6	41.9	18.2	6.0	0.1
	前年値	100.0	－	0.1	0.3	5.1	24.3	41.3	22.5	5.8	0.6
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.6	1.0	2.3	0.6	△ 4.3	0.2	△ 0.5
東海	筆数割合	100.0	0.4	0.4	1.4	9.2	33.6	43.1	10.7	1.1	0.1
	前年値	100.0	0.1	0.2	1.7	7.7	35.1	42.2	12.3	0.7	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.3	0.2	△ 0.3	1.5	△ 1.5	0.9	△ 1.6	0.4	0.1
近畿	筆数割合	100.0	－	－	2.1	7.0	32.5	44.9	12.7	0.8	－
	前年値	100.0	0.1	－	1.8	6.7	33.3	46.3	11.7	0.1	－
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	－	0.3	0.3	△ 0.8	△ 1.4	1.0	0.7	－
中国	筆数割合	100.0	0.2	0.5	1.4	7.6	33.0	42.2	13.1	1.9	0.1
	前年値	100.0	0.2	0.3	1.7	7.0	24.8	42.7	19.6	3.4	0.3
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.2	△ 0.3	0.6	8.2	△ 0.5	△ 6.5	△ 1.5	△ 0.2
四国	筆数割合	100.0	0.3	1.3	2.9	17.3	42.4	30.6	5.0	0.2	－
	前年値	100.0	－	1.0	3.1	11.7	40.7	36.1	7.0	0.2	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	0.3	0.3	△ 0.2	5.6	1.7	△ 5.5	△ 2.0	0.0	△ 0.2
九州	筆数割合	100.0	4.5	0.8	2.2	15.4	44.2	29.5	3.4	－	－
	前年値	100.0	0.3	0.1	1.6	6.7	29.9	45.8	15.2	0.3	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	4.2	0.7	0.6	8.7	14.3	△ 16.3	△ 11.8	△ 0.3	△ 0.1

注：１　10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
　　２　沖縄については、作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

図３　令和元年産水稲の作況標本筆の 10ａ当たり玄米重の分布状況（全国）



３　水稲の玄米品位の状況（統計表 22 ページ参照）

令和元年産水稲の玄米品位の状況は、全国では、整粒の割合が 68.4％と、前年産に比べ 0.8 ポイント低くなっている。

表８　令和元年産水稲の玄米品位の状況（全国）

単位:％

区分	整粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒	被害粒	死米・着色粒
重量割合	68.4	24.2	4.2	7.4	0.9
前年値	69.2	25.7	2.7	5.0	0.7
対前年差(ポイント)	△ 0.8	△ 1.5	1.5	2.4	0.2

注：作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものである。

【統　　計　　表】

統計表一覧

利用上の注意

1　統計数値については、次表の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原　　数		7 桁以上（100万）	6 桁（10万）	5 桁（1 万）	4 桁（1,000）	3 桁以下（100）
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

2　表中に用いた記号は次のとおりである。

「0」　：　単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）
「0.0」　：　増減がないもの
「－」　：　事実のないもの
「…」　：　事実不詳又は調査を欠くもの
「△」　：　負数又は減少したもの
「nc」　：　計算不能

3　この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和元年産水陸稲の収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

1　令和元年産水稲の作付面積及び収穫量

全国・都道府県		作付面積（子実用） 実数 ①	前年産との比較 対差	前年産との比較 対比	10ａ当たり収量 ②	（参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別 10ａ当たり収量 ③	10ａ当たり平年収量 ④	作況指数 ⑤＝③／④
		ha	ha	%	kg	kg	kg	
全国	(1)	1,469,000	△ 1,000	100	528	514	519	99
北海道	(2)	103,000	△ 1,000	99	571	555	532	104
青森	(3)	45,000	800	102	627	612	575	106
岩手	(4)	50,500	200	100	554	538	522	103
宮城	(5)	68,400	1,000	101	551	531	522	102
秋田	(6)	87,800	100	100	600	577	554	104
山形	(7)	64,500	0	100	627	611	580	105
福島	(8)	65,800	900	101	560	540	529	102
茨城	(9)	68,300	△ 100	100	504	493	515	96
栃木	(10)	59,200	700	101	526	514	529	97
群馬	(11)	15,500	△ 100	99	486	470	482	98
埼玉	(12)	32,000	100	100	482	468	476	98
千葉	(13)	56,000	400	101	516	508	532	95
東京	(14)	129	△ 4	97	402	390	404	97
神奈川	(15)	3,040	△ 40	99	470	454	478	95
新潟	(16)	119,200	1,000	101	542	530	528	100
富山	(17)	37,200	△ 100	100	553	540	528	102
石川	(18)	25,000	△ 100	100	532	515	506	102
福井	(19)	25,100	100	100	520	497	499	100
山梨	(20)	4,890	△ 10	100	541	526	533	99
長野	(21)	32,000	△ 200	99	620	609	607	100
岐阜	(22)	22,500	0	100	482	473	478	99
静岡	(23)	15,700	△ 100	99	517	507	513	99
愛知	(24)	27,500	△ 100	100	499	490	499	98
三重	(25)	27,300	△ 200	99	477	465	489	95
滋賀	(26)	31,700	0	100	509	498	506	98
京都	(27)	14,400	△ 100	99	505	495	501	99
大阪	(28)	4,850	△ 160	97	502	485	480	101
兵庫	(29)	36,800	△ 200	99	497	484	489	99
奈良	(30)	8,490	△ 90	99	515	502	500	100
和歌山	(31)	6,360	△ 70	99	494	482	486	99
鳥取	(32)	12,700	△ 100	99	514	503	504	100
島根	(33)	17,300	△ 200	99	506	496	502	99
岡山	(34)	30,100	△ 100	100	517	503	514	98
広島	(35)	22,700	△ 700	97	499	487	515	95
山口	(36)	19,300	△ 500	97	474	461	492	94
徳島	(37)	11,300	△ 100	99	464	459	469	98
早期栽培	(38)	4,340	△ 60	99	456	451	459	98
普通栽培	(39)	6,940	△ 60	99	470	465	475	98
香川	(40)	12,000	△ 500	96	471	464	491	95
愛媛	(41)	13,600	△ 300	98	470	463	492	94
高知	(42)	11,400	△ 100	99	420	414	454	91
早期栽培	(43)	6,440	△ 30	100	455	450	476	95
普通栽培	(44)	4,980	△ 20	100	375	368	425	87
福岡	(45)	35,000	△ 300	99	454	433	477	91
佐賀	(46)	24,100	△ 200	99	298	291	503	58
長崎	(47)	11,400	△ 100	99	455	435	464	94
熊本	(48)	33,300	0	100	483	466	497	94
大分	(49)	20,600	△ 100	100	435	407	480	85
宮崎	(50)	16,100	0	100	465	451	482	94
早期栽培	(51)	6,300	△ 110	98	459	450	470	96
普通栽培	(52)	9,780	110	101	469	452	490	92
鹿児島	(53)	19,500	300	102	454	440	468	94
早期栽培	(54)	4,370	30	101	438	427	435	98
普通栽培	(55)	15,200	400	103	458	444	478	93
沖縄	(56)	677	△ 39	95	298	296	306	97
第一期稲	(57)	506	△ 21	96	331	330	359	92
第二期稲	(58)	171	△ 18	90	200	196	159	123

注：1　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
　　2　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
　　3　収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

収穫量（子実用）			参　　考		
実　数 ⑥＝①×②	前年産との比較		主 食 用 作付面積 ⑦	収 穫 量 （主食用） ⑧＝⑦×②	
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,762,000	△ 18,000	100	1,379,000	7,261,000	(1)
588,100	73,300	114	97,000	553,900	(2)
282,200	18,800	107	39,200	245,800	(3)
279,800	6,700	102	48,300	267,600	(4)
376,900	5,500	101	64,800	357,000	(5)
526,800	35,700	107	74,900	449,400	(6)
404,400	30,300	108	56,900	356,800	(7)
368,500	4,400	101	60,400	338,200	(8)
344,200	△ 14,200	96	66,400	334,700	(9)
311,400	△ 10,400	97	54,900	288,800	(10)
75,300	△ 3,600	95	13,600	66,100	(11)
154,200	△ 1,200	99	30,900	148,900	(12)
289,000	△ 12,400	96	53,700	277,100	(13)
519	△ 36	94	129	519	(14)
14,300	△ 900	94	3,040	14,300	(15)
646,100	18,500	103	106,800	578,900	(16)
205,700	△ 200	100	33,300	184,100	(17)
133,000	2,700	102	22,700	120,800	(18)
130,500	△ 2,000	98	23,600	122,700	(19)
26,500	△ 100	100	4,810	26,000	(20)
198,400	△ 600	100	30,900	191,600	(21)
108,500	900	101	21,400	103,100	(22)
81,200	1,300	102	15,600	80,700	(23)
137,200	△ 500	100	26,600	132,700	(24)
130,200	△ 7,000	95	26,900	128,300	(25)
161,400	△ 900	99	30,200	153,700	(26)
72,700	△ 100	100	13,800	69,700	(27)
24,300	△ 400	98	4,850	24,300	(28)
182,900	900	100	35,300	175,400	(29)
43,700	△ 400	99	8,450	43,500	(30)
31,400	△ 200	99	6,360	31,400	(31)
65,300	1,600	103	12,600	64,800	(32)
87,500	△ 4,200	95	16,900	85,500	(33)
155,600	△ 500	100	29,300	151,500	(34)
113,300	△ 9,600	92	22,200	110,800	(35)
91,500	△ 11,900	88	18,400	87,200	(36)
52,400	△ 1,200	98	11,000	51,000	(37)
19,800	△ 700	97	…	…	(38)
32,600	△ 600	98	…	…	(39)
56,500	△ 3,400	94	12,000	56,500	(40)
63,900	△ 5,300	92	13,500	63,500	(41)
47,900	△ 2,800	94	11,300	47,500	(42)
29,300	△ 800	97	…	…	(43)
18,700	△ 1,900	91	…	…	(44)
158,900	△ 24,000	87	34,500	156,600	(45)
71,800	△ 57,500	56	23,700	70,600	(46)
51,900	△ 5,500	90	11,300	51,400	(47)
160,800	△ 15,400	91	32,300	156,000	(48)
89,600	△ 14,100	86	20,400	88,700	(49)
74,900	△ 4,500	94	14,600	67,900	(50)
28,900	△ 1,600	95	…	…	(51)
45,900	△ 2,900	94	…	…	(52)
88,500	△ 3,900	96	18,300	83,100	(53)
19,100	△ 400	98	…	…	(54)
69,600	△ 2,900	96	…	…	(55)
2,020	△ 180	92	665	1,980	(56)
1,670	△ 250	87	…	…	(57)
342	60	121	…	…	(58)

4　（参考）の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10ａ当たり収量、④10ａ当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

２　令和元年産水稲の収量構成要素（水稲作況標本筆調査成績）

全国・都道府県	1㎡当たり株数		1株当たり有効穂数		1㎡当たり有効穂数		1穂当たりもみ数		1㎡当たり全もみ数		千もみ当たり収量	
	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比
	株	%	本	%	本	%	粒	%	百粒	%	g	%
全国 (1)	17.2	98	23.9	104	411	102	73.7	99	303	101	17.9	98
北海道 (2)	21.9	99	27.4	110	599	109	58.1	95	348	104	16.9	101
青森 (3)	19.6	99	23.2	109	455	109	77.4	96	352	104	18.4	103
岩手 (4)	17.4	98	26.3	108	457	106	65.2	98	298	104	19.0	99
宮城 (5)	16.8	97	27.6	108	464	105	65.5	100	304	104	18.5	99
秋田 (6)	18.9	99	23.9	106	451	105	71.8	98	324	104	18.9	101
山形 (7)	19.3	99	26.9	112	520	112	64.4	95	335	106	19.1	99
福島 (8)	16.8	97	24.6	107	414	104	75.4	100	312	105	18.6	99
茨城 (9)	15.6	96	24.9	105	389	101	80.2	101	312	102	16.5	94
栃木 (10)	17.0	98	21.6	104	367	103	85.0	101	312	104	17.2	94
群馬 (11)	16.7	97	21.0	98	350	95	81.4	101	285	96	17.3	101
埼玉 (12)	15.9	96	23.1	102	368	98	79.3	103	292	101	16.8	97
千葉 (13)	15.7	98	25.4	105	398	102	77.4	98	308	100	17.3	97
東京 (14)	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc
神奈川 (15)	16.8	97	18.2	92	305	89	81.6	100	249	90	19.2	107
新潟 (16)	17.0	101	23.0	103	391	104	77.7	99	304	103	18.3	97
富山 (17)	18.9	101	20.4	106	386	106	75.9	98	293	104	19.3	97
石川 (18)	17.8	101	22.4	101	398	102	73.6	99	293	102	18.5	101
福井 (19)	17.3	97	23.4	104	404	102	73.0	101	295	102	18.1	98
山梨 (20)	16.5	96	22.9	99	378	95	79.1	104	299	99	18.3	100
長野 (21)	17.7	97	23.6	104	418	100	81.1	103	339	103	18.6	97
岐阜 (22)	15.7	96	22.5	102	353	98	75.4	101	266	100	18.5	99
静岡 (23)	16.9	95	21.7	103	367	98	82.0	109	301	107	17.6	93
愛知 (24)	17.1	99	22.0	99	376	98	75.0	101	282	99	18.1	99
三重 (25)	16.0	98	22.9	100	367	97	76.8	102	282	99	17.5	98
滋賀 (26)	16.6	99	22.2	98	369	97	79.7	100	294	97	17.6	101
京都 (27)	16.4	99	20.7	100	339	99	81.1	100	275	99	18.7	100
大阪 (28)	15.0	93	23.9	107	358	100	80.7	101	289	100	17.6	101
兵庫 (29)	15.9	98	21.1	101	335	99	79.7	100	267	99	19.0	100
奈良 (30)	15.9	96	22.3	102	355	98	82.5	101	293	100	17.8	101
和歌山 (31)	15.8	97	22.2	99	351	96	80.9	104	284	99	17.7	100
鳥取 (32)	16.1	98	22.2	100	357	99	79.0	105	282	104	18.6	96
島根 (33)	16.3	98	21.2	100	346	98	82.1	103	284	101	18.2	98
岡山 (34)	15.5	99	22.1	99	343	98	81.3	100	279	98	18.9	100
広島 (35)	15.4	97	24.6	108	379	105	75.2	96	285	100	17.9	94
山口 (36)	16.4	98	22.1	104	363	102	76.6	97	278	99	17.5	95
徳島 (37)	15.5	96	24.3	104	377	100	75.9	100	286	100	16.5	98
香川 (38)	15.1	93	23.3	98	352	92	75.6	100	266	92	18.1	103
愛媛 (39)	14.8	98	23.7	99	351	97	80.1	102	281	99	17.2	96
高知 (40)	14.5	99	24.8	102	360	101	73.6	102	265	103	16.2	89
福岡 (41)	16.1	98	21.5	94	346	92	79.5	101	275	94	17.0	99
佐賀 (42)	16.5	98	22.2	91	367	89	76.8	103	282	91	16.1	94
長崎 (43)	16.1	96	22.0	96	354	93	79.4	105	281	97	16.8	97
熊本 (44)	15.2	98	24.9	100	378	98	77.0	100	291	98	17.0	97
大分 (45)	15.0	96	22.3	95	335	91	83.3	103	279	94	16.0	92
宮崎 (46)	16.4	98	22.7	95	373	93	72.9	102	272	95	17.4	98
鹿児島 (47)	17.4	99	20.4	94	355	92	74.4	102	264	94	17.6	99
沖縄 (48)	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc

注：１　対平年比とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（１㎡当たり株数等）の平年値との対比である。
　　２　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県については作期別（早期栽培・普通栽培）の平均値である。
　　３　東京都及び沖縄県については、水稲作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

粗玄米粒数歩合		玄米粒数歩合		玄米千粒重		10a当たり粗玄米重		玄米重歩合		10a当たり玄米重		
本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	
%	%	%	%	g	%	kg	%	%	%	kg	%	
88.4	100	95.9	100	21.1	98	557	100	97.5	100	543	100	(1)
82.8	103	96.5	101	21.2	97	598	103	98.3	100	588	104	(2)
85.5	101	96.7	101	22.2	101	657	107	98.3	100	646	107	(3)
91.3	100	96.7	100	21.5	99	575	103	98.3	100	565	103	(4)
92.1	103	95.0	98	21.2	98	577	103	97.6	100	563	103	(5)
91.0	102	96.6	100	21.5	99	624	105	98.1	100	612	105	(6)
91.9	100	96.1	99	21.6	99	653	105	98.0	100	640	105	(7)
89.4	101	95.3	99	21.8	99	595	105	97.3	100	579	104	(8)
87.2	99	96.3	101	19.7	95	525	95	98.1	101	515	96	(9)
88.5	97	95.3	100	20.4	97	552	97	97.3	100	537	97	(10)
88.8	103	92.5	101	21.1	98	517	96	95.6	100	494	97	(11)
89.4	101	94.3	101	20.0	96	510	98	96.5	100	492	99	(12)
88.6	100	96.3	101	20.2	96	542	96	98.2	101	532	96	(13)
…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	(14)
94.4	104	94.5	102	21.5	101	493	94	96.8	101	477	95	(15)
89.1	98	96.7	101	21.2	98	566	99	98.2	101	556	100	(16)
92.2	100	97.4	101	21.5	97	573	102	98.6	100	565	102	(17)
88.1	101	96.9	100	21.7	99	551	102	98.4	100	542	102	(18)
90.8	101	94.4	99	21.1	98	550	101	97.1	100	534	101	(19)
90.0	98	95.5	101	21.3	100	560	98	97.7	100	547	99	(20)
90.0	98	95.7	100	21.6	99	647	100	97.7	100	632	100	(21)
85.0	100	96.9	101	22.4	98	500	98	98.2	100	491	99	(22)
86.0	97	96.5	100	21.2	95	541	100	98.0	100	530	99	(23)
85.1	99	96.7	101	22.0	100	519	98	98.3	100	510	98	(24)
87.6	100	95.1	99	21.0	98	506	97	97.4	100	493	97	(25)
87.1	102	96.5	102	21.0	97	528	97	98.1	101	518	98	(26)
91.3	102	96.0	101	21.3	97	523	98	98.1	101	513	99	(27)
88.9	100	94.6	101	20.9	100	525	100	97.0	101	509	101	(28)
91.8	101	94.7	100	21.8	99	521	99	97.1	100	506	99	(29)
87.4	101	95.3	100	21.4	100	536	100	97.4	100	522	100	(30)
87.0	101	94.3	101	21.6	98	520	99	96.9	100	504	100	(31)
88.3	98	96.0	100	21.9	98	536	100	97.8	100	524	100	(32)
88.7	100	96.4	100	21.2	97	527	99	97.9	100	516	99	(33)
91.4	103	94.9	100	21.8	98	542	99	97.2	100	527	98	(34)
87.4	98	96.0	99	21.4	97	522	95	97.9	99	511	94	(35)
88.8	100	95.5	100	20.6	95	499	95	97.4	100	486	95	(36)
82.2	98	94.9	99	21.2	101	487	99	96.9	99	472	98	(37)
90.2	99	92.5	101	21.7	103	502	94	95.8	101	481	95	(38)
87.5	98	93.5	99	21.0	99	502	95	96.4	100	484	95	(39)
83.8	93	93.2	97	20.8	98	447	93	96.2	98	430	91	(40)
86.5	100	93.3	100	21.0	97	487	92	95.9	100	467	92	(41)
86.2	101	89.7	97	20.8	96	482	87	94.2	98	454	85	(42)
86.1	100	94.6	100	20.7	98	491	95	96.3	100	473	95	(43)
87.3	99	94.1	100	20.7	97	513	94	96.5	100	495	94	(44)
85.3	97	92.0	98	20.4	96	470	88	95.1	99	447	87	(45)
89.7	101	93.9	99	20.7	98	490	94	96.5	99	473	93	(46)
87.1	100	95.7	100	21.1	99	477	94	97.5	100	465	94	(47)
…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	(48)

4　千もみ当たり収量、玄米千粒重及び10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

３　令和元年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況

全国・都道府県	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以上
	%	%	%	%	%	%	%
全国 (1)	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
北海道 (2)	100.0	0.5	1.0	1.3	2.4	13.3	81.5
青森 (3)	100.0	0.5	0.8	1.1	1.6	10.3	85.7
岩手 (4)	100.0	0.6	0.9	1.3	1.8	11.3	84.1
宮城 (5)	100.0	0.7	1.3	1.6	2.9	17.7	75.8
秋田 (6)	100.0	0.6	1.3	1.9	2.4	12.0	81.8
山形 (7)	100.0	0.5	0.9	1.2	2.2	13.3	81.9
福島 (8)	100.0	0.5	1.3	1.7	2.0	11.7	82.8
茨城 (9)	100.0	0.9	1.3	1.4	2.9	18.2	75.3
栃木 (10)	100.0	0.8	1.5	1.8	2.8	18.2	74.9
群馬 (11)	100.0	1.4	1.9	5.2	6.3	29.8	55.4
埼玉 (12)	100.0	1.2	1.8	3.0	4.7	27.2	62.1
千葉 (13)	100.0	0.6	0.9	1.5	2.4	15.8	78.8
東京 (14)	100.0	1.1	1.8	2.8	4.2	22.3	67.8
神奈川 (15)	100.0	1.3	2.2	2.6	4.3	23.8	65.8
新潟 (16)	100.0	0.4	0.8	1.1	1.8	11.6	84.3
富山 (17)	100.0	0.5	0.9	1.0	2.2	12.5	82.9
石川 (18)	100.0	0.7	1.1	1.4	2.3	12.4	82.1
福井 (19)	100.0	1.0	1.5	1.9	2.6	13.0	80.0
山梨 (20)	100.0	1.0	1.7	1.8	3.5	17.0	75.0
長野 (21)	100.0	0.6	1.1	1.2	1.8	10.5	84.8
岐阜 (22)	100.0	0.7	1.2	1.7	2.1	10.8	83.5
静岡 (23)	100.0	0.7	1.2	1.9	2.8	16.6	76.8
愛知 (24)	100.0	0.6	1.2	1.9	2.6	13.7	80.0
三重 (25)	100.0	1.0	1.6	2.5	3.0	13.3	78.6
滋賀 (26)	100.0	0.8	1.4	1.7	2.2	12.6	81.3
京都 (27)	100.0	0.7	1.3	1.6	2.4	12.0	82.0
大阪 (28)	100.0	1.2	2.1	4.2	4.7	20.8	67.0
兵庫 (29)	100.0	0.9	1.7	1.7	2.6	15.0	78.1
奈良 (30)	100.0	0.8	1.8	2.4	3.5	17.1	74.4
和歌山 (31)	100.0	0.9	1.6	2.2	2.7	15.7	76.9
鳥取 (32)	100.0	0.8	1.3	1.5	2.3	12.4	81.7
島根 (33)	100.0	0.7	1.2	1.7	2.1	12.6	81.7
岡山 (34)	100.0	1.0	1.7	2.7	3.2	16.5	74.9
広島 (35)	100.0	0.8	1.6	2.0	2.7	15.9	77.0
山口 (36)	100.0	0.9	1.8	2.5	3.4	19.1	72.3
徳島 (37)	100.0	1.1	1.9	2.5	2.9	14.7	76.9
早期栽培 (38)	100.0	1.0	1.9	2.3	2.7	13.5	78.6
普通栽培 (39)	100.0	1.1	2.0	2.6	3.1	15.5	75.7
香川 (40)	100.0	1.4	2.1	3.2	3.8	21.0	68.5
愛媛 (41)	100.0	1.4	2.5	3.3	4.9	21.5	66.4
高知 (42)	100.0	1.4	2.3	3.1	3.8	19.8	69.6
早期栽培 (43)	100.0	1.0	1.7	2.2	2.9	18.0	74.2
普通栽培 (44)	100.0	1.9	3.3	4.4	5.1	22.7	62.6
福岡 (45)	100.0	1.5	3.1	4.3	5.1	26.0	60.0
佐賀 (46)	100.0	0.8	1.5	2.2	3.0	18.3	74.2
長崎 (47)	100.0	1.4	2.9	3.3	6.2	27.2	59.0
熊本 (48)	100.0	1.2	2.4	2.9	4.8	23.7	65.0
大分 (49)	100.0	2.1	4.4	5.6	8.2	32.2	47.5
宮崎 (50)	100.0	1.0	2.0	4.4	6.2	27.5	58.9
早期栽培 (51)	100.0	0.7	1.3	1.8	2.9	19.1	74.2
普通栽培 (52)	100.0	1.2	2.4	6.1	8.2	32.8	49.3
鹿児島 (53)	100.0	1.1	1.9	3.0	4.0	20.4	69.6
早期栽培 (54)	100.0	0.9	1.5	2.5	3.1	19.6	72.4
普通栽培 (55)	100.0	1.1	2.0	3.2	4.2	20.6	68.9
沖縄 (56)	100.0	0.7	1.6	2.4	3.8	17.6	73.9

注：１　対平均差に用いた平均値は、直近５か年の重量割合の平均値である。
　　２　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

対平均差							
計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以　上	
ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	
0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.2	0.4	(1)
0.0	△ 0.1	0.0	0.0	0.6	3.0	△ 3.5	(2)
0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	1.3	(3)
0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.5	0.8	(4)
0.0	0.0	0.2	0.1	0.6	4.0	△ 4.9	(5)
0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	△ 1.3	1.1	(6)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.3	2.5	(7)
0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 1.6	2.4	(8)
0.0	0.2	△ 0.2	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	1.5	(9)
0.0	△ 0.2	0.1	△ 0.9	△ 0.6	△ 4.9	6.5	(10)
0.0	△ 0.2	0.1	1.6	△ 0.2	5.6	△ 6.9	(11)
0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	0.8	△ 0.8	(12)
0.0	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.4	△ 2.1	3.8	(13)
0.0	0.0	0.2	0.0	△ 0.1	2.8	△ 2.9	(14)
0.0	△ 0.6	0.0	△ 0.9	△ 1.0	3.2	△ 0.7	(15)
0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8	△ 3.1	5.5	(16)
0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.2	△ 3.2	3.9	(17)
0.0	0.2	0.3	0.3	0.4	1.1	△ 2.3	(18)
0.0	0.2	0.0	0.0	△ 0.1	△ 2.2	2.1	(19)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.5	1.0	(20)
0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.6	△ 3.0	4.3	(21)
0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.4	2.2	(22)
0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	2.0	△ 2.4	(23)
0.0	△ 0.1	0.1	0.3	0.4	1.4	△ 2.1	(24)
0.0	0.1	0.1	0.4	0.6	0.0	△ 1.2	(25)
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.9	1.6	(26)
0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	2.1	△ 2.9	(27)
0.0	△ 0.1	0.0	0.6	0.3	1.3	△ 2.1	(28)
0.0	△ 0.1	0.1	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	1.1	(29)
0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	2.9	△ 3.8	(30)
0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	2.8	△ 3.6	(31)
0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.6	△ 1.7	(32)
0.0	0.0	0.1	△ 0.1	0.2	1.7	△ 1.9	(33)
0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.8	△ 1.4	(34)
0.0	0.1	0.4	0.4	0.8	4.4	△ 6.1	(35)
0.0	0.0	0.4	0.2	0.7	4.3	△ 5.6	(36)
0.0	0.1	0.4	0.1	0.2	△ 0.3	△ 0.5	(37)
0.0	0.1	0.5	0.0	0.1	△ 1.7	1.0	(38)
0.0	0.1	0.4	0.1	0.3	0.6	△ 1.5	(39)
0.0	0.2	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.8	△ 3.5	4.7	(40)
0.0	0.2	0.6	0.6	1.0	2.6	△ 5.0	(41)
0.0	0.6	1.1	1.6	1.3	7.4	△ 12.0	(42)
0.0	0.4	0.8	1.1	1.0	7.6	△ 10.9	(43)
0.0	0.9	1.7	2.3	1.8	7.2	△ 13.9	(44)
0.0	0.1	0.4	0.6	0.8	4.0	△ 5.9	(45)
0.0	△ 0.5	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3	2.7	(46)
0.0	0.1	0.3	△ 0.3	0.9	1.4	△ 2.4	(47)
0.0	△ 0.1	0.1	△ 0.2	0.5	2.0	△ 2.3	(48)
0.0	0.5	1.4	1.7	1.6	4.9	△ 10.1	(49)
0.0	△ 0.1	0.2	1.7	2.2	4.4	△ 8.4	(50)
0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.5	△ 1.3	(51)
0.0	△ 0.2	0.2	2.7	3.2	6.7	△ 12.6	(52)
0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3	△ 1.4	2.1	(53)
0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.9	△ 4.0	5.3	(54)
0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.7	1.3	(55)
0.0	△ 0.2	△ 0.2	0.1	0.7	4.1	△ 4.5	(56)

４　令和元年産水稲玄米のふるい目幅別10ａ当たり収量

単位：kg

全国・都道府県	1.70㎜以上	1.75㎜以上	1.80㎜以上	1.85㎜以上	1.90㎜以上	2.00㎜以上
全国	528	524	517	507	492	411
北海道	571	568	562	555	541	465
青森	627	624	619	612	602	537
岩手	554	551	546	538	529	466
宮城	551	547	540	531	515	418
秋田	600	596	589	577	563	491
山形	627	624	618	611	597	514
福島	560	557	550	540	529	464
茨城	504	499	493	486	471	380
栃木	526	522	514	504	490	394
群馬	486	479	470	445	414	269
埼玉	482	476	468	453	430	299
千葉	516	513	508	501	488	407
東京	402	398	390	379	362	273
神奈川	470	464	454	441	421	309
新潟	542	540	535	530	520	457
富山	553	550	545	540	528	458
石川	532	528	522	515	503	437
福井	520	515	507	497	484	416
山梨	541	536	526	517	498	406
長野	620	616	609	602	591	526
岐阜	482	479	473	465	455	402
静岡	517	513	507	497	483	397
愛知	499	496	490	481	468	399
三重	477	472	465	453	438	375
滋賀	509	505	498	489	478	414
京都	505	501	495	487	475	414
大阪	502	496	485	464	441	336
兵庫	497	493	484	476	463	388
奈良	515	511	502	489	471	383
和歌山	494	490	482	471	457	380
鳥取	514	510	503	495	484	420
島根	506	502	496	488	477	413
岡山	517	512	503	489	473	387
広島	499	495	487	477	464	384
山口	474	470	461	449	433	343
徳島	464	459	450	438	425	357
早期栽培	456	451	443	432	420	358
普通栽培	470	465	455	443	429	356
香川	471	464	455	439	422	323
愛媛	470	463	452	436	413	312
高知	420	414	404	391	375	292
早期栽培	455	450	443	433	420	338
普通栽培	375	368	356	339	320	235
福岡	454	447	433	414	390	272
佐賀	298	296	291	285	276	221
長崎	455	449	435	420	392	268
熊本	483	477	466	452	428	314
大分	435	426	407	382	347	207
宮崎	465	460	451	431	402	274
早期栽培	459	456	450	442	428	341
普通栽培	469	463	452	424	385	231
鹿児島	454	449	440	427	409	316
早期栽培	438	434	427	417	403	317
普通栽培	458	453	444	429	410	316
沖縄	298	296	291	284	273	220

注：　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

５　令和元年産水稲玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）

単位：ｔ

全国・都道府県	1.70mm以上	1.75mm以上	1.80mm以上	1.85mm以上	1.90mm以上	2.00mm以上
全国	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
北海道	588,100	585,200	579,300	571,600	557,500	479,300
青森	282,200	280,800	278,500	275,400	270,900	241,800
岩手	279,800	278,100	275,600	272,000	266,900	235,300
宮城	376,900	374,300	369,400	363,300	352,400	285,700
秋田	526,800	523,600	516,800	506,800	494,100	430,900
山形	404,400	402,400	398,700	393,900	385,000	331,200
福島	368,500	366,700	361,900	355,600	348,200	305,100
茨城	344,200	341,100	336,600	331,800	321,800	259,200
栃木	311,400	308,900	304,200	298,600	289,900	233,200
群馬	75,300	74,200	72,800	68,900	64,200	41,700
埼玉	154,200	152,400	149,600	144,900	137,700	95,800
千葉	289,000	287,300	284,700	280,300	273,400	227,700
東京	519	513	504	489	468	352
神奈川	14,300	14,100	13,800	13,400	12,800	9,410
新潟	646,100	643,500	638,300	631,200	619,600	544,700
富山	205,700	204,700	202,800	200,800	196,200	170,500
石川	133,000	132,100	130,600	128,700	125,700	109,200
福井	130,500	129,200	127,200	124,800	121,400	104,400
山梨	26,500	26,200	25,800	25,300	24,400	19,900
長野	198,400	197,200	195,000	192,600	189,100	168,200
岐阜	108,500	107,700	106,400	104,600	102,300	90,600
静岡	81,200	80,600	79,700	78,100	75,800	62,400
愛知	137,200	136,400	134,700	132,100	128,600	109,800
三重	130,200	128,900	126,800	123,600	119,700	102,300
滋賀	161,400	160,100	157,800	155,100	151,600	131,200
京都	72,700	72,200	71,200	70,100	68,300	59,600
大阪	24,300	24,000	23,500	22,500	21,300	16,300
兵庫	182,900	181,300	178,100	175,000	170,300	142,800
奈良	43,700	43,400	42,600	41,500	40,000	32,500
和歌山	31,400	31,100	30,600	29,900	29,100	24,100
鳥取	65,300	64,800	63,900	62,900	61,400	53,400
島根	87,500	86,900	85,800	84,400	82,500	71,500
岡山	155,600	154,000	151,400	147,200	142,200	116,500
広島	113,300	112,400	110,600	108,300	105,300	87,200
山口	91,500	90,700	89,000	86,700	83,600	66,200
徳島	52,400	51,800	50,800	49,500	48,000	40,300
早期栽培	19,800	19,600	19,200	18,800	18,200	15,600
普通栽培	32,600	32,200	31,600	30,700	29,700	24,700
香川	56,500	55,700	54,500	52,700	50,600	38,700
愛媛	63,900	63,000	61,400	59,300	56,200	42,400
高知	47,900	47,200	46,100	44,600	42,800	33,300
早期栽培	29,300	29,000	28,500	27,900	27,000	21,700
普通栽培	18,700	18,300	17,700	16,900	16,000	11,700
福岡	158,900	156,500	151,600	144,800	136,700	95,300
佐賀	71,800	71,200	70,100	68,600	66,400	53,300
長崎	51,900	51,200	49,700	48,000	44,700	30,600
熊本	160,800	158,900	155,000	150,300	142,600	104,500
大分	89,600	87,700	83,800	78,800	71,400	42,600
宮崎	74,900	74,200	72,700	69,400	64,700	44,100
早期栽培	28,900	28,700	28,300	27,800	27,000	21,400
普通栽培	45,900	45,300	44,200	41,400	37,700	22,600
鹿児島	88,500	87,500	85,800	83,200	79,700	61,600
早期栽培	19,100	18,900	18,600	18,200	17,600	13,800
普通栽培	69,600	68,800	67,400	65,200	62,300	48,000
沖縄	2,020	2,010	1,970	1,930	1,850	1,490

注：ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

６　水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布

【令和元年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞取り結果】

単位：％

全国・都道府県	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
全国	100.0	0.2	2.1	25.3	37.4	34.3	0.7
北海道	100.0	0.2	－	－	22.1	74.2	3.5
青森	100.0	－	－	－	0.9	99.1	－
岩手	100.0	－	0.3	1.2	6.1	92.4	－
宮城	100.0	－	－	－	4.4	95.6	－
秋田	100.0	－	－	0.8	20.3	78.9	－
山形	100.0	－	－	－	17.2	82.2	0.6
福島	100.0	－	－	1.9	58.5	39.6	－
茨城	100.0	－	－	12.7	86.5	0.4	0.4
栃木	100.0	－	－	5.2	94.5	0.3	－
群馬	100.0	0.6	5.4	88.0	4.2	1.2	0.6
埼玉	100.0	1.1	29.4	62.3	7.2	－	－
千葉	100.0	－	2.2	87.0	10.0	0.4	0.4
東京	100.0	－	50.0	50.0	－	－	－
神奈川	100.0	－	12.1	81.9	3.0	3.0	－
新潟	100.0	0.2	1.2	2.9	59.9	33.5	2.3
富山	100.0	－	－	0.9	10.5	86.8	1.8
石川	100.0	－	－	0.4	48.3	51.3	－
福井	100.0	－	－	0.9	2.6	96.1	0.4
山梨	100.0	－	6.1	42.9	51.0	－	－
長野	100.0	－	－	15.8	72.8	9.9	1.5
岐阜	100.0	－	2.5	49.6	44.2	2.5	1.2
静岡	100.0	0.5	8.6	40.1	48.1	1.6	1.1
愛知	100.0	－	－	4.1	62.1	33.8	－
三重	100.0	1.3	0.9	23.8	70.2	3.8	－
滋賀	100.0	－	0.5	9.4	29.6	60.5	－
京都	100.0	－	0.6	35.5	47.6	16.3	－
大阪	100.0	3.0	19.4	71.6	3.0	3.0	－
兵庫	100.0	0.4	4.2	42.2	42.2	3.4	7.6
奈良	100.0	0.9	6.6	72.7	19.8	－	－
和歌山	100.0	－	12.4	85.7	－	1.9	－
鳥取	100.0	0.8	－	3.9	91.4	3.9	－
島根	100.0	－	－	5.4	13.9	80.2	0.5
岡山	100.0	－	0.8	45.7	53.1	0.4	－
広島	100.0	－	0.5	26.8	69.3	2.9	0.5
山口	100.0	0.5	－	1.0	78.7	19.3	0.5
徳島	100.0	0.6	9.0	80.8	9.6	－	－
香川	100.0	0.7	9.2	77.6	12.5	－	－
愛媛	100.0	－	1.9	51.3	46.8	－	－
高知	100.0	－	2.6	85.4	11.3	0.7	－
福岡	100.0	－	－	16.6	83.4	－	－
佐賀	100.0	－	－	2.3	58.5	38.3	0.9
長崎	100.0	2.7	13.5	57.7	21.6	4.5	－
熊本	100.0	－	1.1	43.8	54.7	0.4	－
大分	100.0	－	1.5	43.8	54.7	－	－
宮崎	100.0	－	2.0	97.5	0.5	－	－
鹿児島	100.0	－	0.8	92.9	6.3	－	－
沖縄	100.0	－	33.3	66.7	－	－	－

注：　農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稲作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

7　令和元年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり玄米重の分布状況

単位:%

全国・都道府県	計	100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800kg以上
全国	100.0	0.8	0.3	1.3	7.2	26.8	40.2	19.1	4.1	0.2
北海道	100.0	－	－	0.2	1.6	13.5	47.9	33.3	3.3	0.2
青森	100.0	0.3	0.3	0.6	1.8	7.3	21.6	38.6	26.8	2.7
岩手	100.0	－	0.3	0.6	2.4	15.0	49.4	28.2	4.1	－
宮城	100.0	－	－	0.9	1.2	15.2	56.7	24.8	1.2	－
秋田	100.0	－	－	0.5	0.8	6.8	33.9	48.3	9.2	0.5
山形	100.0	－	－	0.3	0.6	4.4	21.2	51.1	21.2	1.2
福島	100.0	－	－	－	3.1	12.3	40.7	39.2	4.4	0.3
茨城	100.0	－	－	1.1	5.0	31.1	53.1	9.3	0.4	－
栃木	100.0	0.4	－	－	4.6	27.5	47.1	17.9	2.5	－
群馬	100.0	－	－	2.8	11.1	31.1	43.9	9.4	1.7	－
埼玉	100.0	－	0.6	1.1	9.4	40.6	41.0	6.7	0.6	－
千葉	100.0	－	0.4	0.4	4.2	27.4	48.3	18.1	0.8	0.4
東京	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
神奈川	100.0	－	－	3.4	15.3	44.0	32.2	3.4	1.7	－
新潟	100.0	0.2	－	1.8	3.6	18.0	48.6	23.4	4.2	0.2
富山	100.0	－	－	0.9	2.7	15.0	48.2	29.1	3.6	0.5
石川	100.0	－	－	－	4.8	23.0	50.0	20.9	1.3	－
福井	100.0	－	－	1.7	4.8	20.4	60.1	12.6	0.4	－
山梨	100.0	－	－	－	15.0	20.0	31.2	22.5	11.3	－
長野	100.0	－	－	0.7	0.4	7.4	24.2	41.6	25.3	0.4
岐阜	100.0	－	1.6	0.5	8.1	38.9	41.2	8.6	1.1	－
静岡	100.0	－	－	1.1	8.9	26.3	41.9	17.3	3.9	0.6
愛知	100.0	－	－	0.5	6.2	36.2	48.5	8.6	－	－
三重	100.0	1.3	－	3.0	13.0	32.6	41.0	9.1	－	－
滋賀	100.0	－	－	1.4	7.1	30.5	45.8	13.8	1.4	－
京都	100.0	－	－	1.3	6.0	33.3	44.7	14.0	0.7	－
大阪	100.0	－	－	－	－	46.0	54.0	－	－	－
兵庫	100.0	－	－	3.0	8.7	33.5	42.2	12.2	0.4	－
奈良	100.0	－	－	－	8.0	31.0	44.0	16.0	1.0	－
和歌山	100.0	－	－	6.0	7.0	28.0	45.0	13.0	1.0	－
鳥取	100.0	－	－	2.0	8.7	28.0	42.6	14.7	3.3	0.7
島根	100.0	－	－	0.5	8.7	34.4	43.1	12.3	1.0	－
岡山	100.0	－	0.4	1.3	7.5	27.1	40.4	20.4	2.9	－
広島	100.0	0.5	1.4	1.4	5.9	30.9	44.9	12.7	2.3	－
山口	100.0	0.5	0.5	2.2	7.6	45.7	39.7	3.8	－	－
徳島	100.0	－	1.3	2.7	13.3	42.7	36.0	3.3	0.7	－
香川	100.0	－	0.7	－	12.7	49.9	30.0	6.7	－	－
愛媛	100.0	－	0.7	4.7	10.0	44.6	33.3	6.7	－	－
高知	100.0	1.2	2.4	4.1	31.2	33.5	24.1	3.5	－	－
福岡	100.0	0.8	0.4	1.5	10.8	56.1	28.5	1.9	－	－
佐賀	100.0	29.5	1.9	3.3	15.7	33.4	15.2	1.0	－	－
長崎	100.0	－	0.7	2.7	18.0	47.9	26.7	4.0	－	－
熊本	100.0	－	1.1	1.1	10.4	41.0	40.7	5.7	－	－
大分	100.0	0.5	－	2.7	21.9	53.6	20.2	1.1	－	－
宮崎	100.0	－	0.5	1.4	16.3	41.6	35.4	4.8	－	－
鹿児島	100.0	1.0	1.0	3.5	19.1	35.7	34.7	5.0	－	－
沖縄	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

注：1　10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
　　2　東京都及び沖縄県については、水稲作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

８　令和元年産水稲の作柄表示地帯別作況指数

【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数
北海道（104）	石狩	103
	南空知	104
	北空知	105
	上川	105
	留萌	106
	渡島	102
	檜山	98
	後志	101
	胆振	105
	日高	106
	オホーツク・十勝	109
青森（106）	青森	106
	津軽	106
	南部・下北	106
岩手（103）	北上川上流	103
	北上川下流	103
	東部	106
	北部	105
宮城（102）	南部	100
	中部	101
	北部	102
	東部	102
秋田（104）	県北	104
	県中央	104
	県南	104
山形（105）	村山	105
	最上	105
	置賜	105
	庄内	106
福島（102）	中通り	102
	浜通り	101
	会津	103
茨城（96）	北部	98
	鹿行	98
	南部	95
	西部	95
栃木（97）	北部	98
	中部	97
	南部	97
群馬（98）	中毛	98
	北毛	98
	東毛	97
埼玉（98）	東部	98
	西部	99
千葉（95）	京葉	97
	九十九里	94
	南房総	98
東京（97）	－	97
神奈川（95）	－	95
新潟（100）	岩船	103
	下越北	103
	下越南	100
	中越	99
	魚沼	101
	上越	97
	佐渡	99
富山（102）	－	102
石川（102）	加賀	103
	能登	100
福井（100）	嶺北	100
	嶺南	99
山梨（99）	－	99
長野（100）	東信	99
	南信	101
	中信	100
	北信	100
岐阜（99）	西南濃	99
	中濃	98
	東濃	98
	飛騨	99
静岡（99）	東部	95
	西部	102

注：１　作況指数とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率であり、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数
愛知（98）	尾張	98
	西三河	99
	東三河	99
三重（95）	北勢	95
	中勢	95
	南勢	95
	伊賀	95
滋賀（98）	湖南	98
	湖北	98
京都（99）	南部	100
	北部	97
大阪（101）	－	101
兵庫（99）	県南	99
	県北	98
	淡路	99
奈良（100）	－	100
和歌山（99）	－	99
鳥取（100）	東部	99
	西部	100
島根（99）	出雲	100
	石見	97
岡山（98）	南部	98
	中北部	98
広島（95）	南部	94
	北部	95
山口（94）	東部	94
	西部	93
	長北	95
徳島（98）	北部	98
	南部	99
香川（95）	－	95
愛媛（94）	東予	95
	中予	95
	南予	91

都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数
高知（91）	中東部	93
	西部	88
福岡（91）	福岡	96
	北東部	93
	筑後	88
佐賀（58）	佐賀	53
	松浦	79
長崎（94）	南部	93
	北部	93
	五島	99
	壱岐・対馬	101
熊本（94）	県北	94
	阿蘇	91
	県南	93
	天草	100
大分（85）	北部	86
	湾岸	82
	南部	86
	日田	84
宮崎（94）	広域沿海	95
	広域霧島	92
	西北山間	95
鹿児島（94）	薩摩半島	95
	出水薩摩	95
	伊佐姶良	91
	大隅半島	94
	熊毛・大島	98
沖縄（97）	沖縄諸島	103
	八重山	93

2　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）と普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

9　令和元年産水稲の玄米品位の状況

単位：%

全国農業地域	区分	整粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒	被害粒	死米・着色粒
全国	重量割合	68.4	24.2	4.2	7.4	0.9
	前年値	69.2	25.7	2.7	5.0	0.7
	対前年差(ポイント)	△ 0.8	△ 1.5	1.5	2.4	0.2
北海道	重量割合	65.2	26.8	4.7	8.1	1.3
	前年値	64.9	29.0	3.7	6.2	1.0
	対前年差(ポイント)	0.3	△ 2.2	1.0	1.9	0.3
東北	重量割合	74.0	18.4	2.9	7.5	0.5
	前年値	74.6	21.2	1.2	4.2	0.4
	対前年差(ポイント)	△ 0.6	△ 2.8	1.7	3.3	0.1
北陸	重量割合	64.4	23.8	6.5	11.8	1.0
	前年値	69.8	22.8	1.9	7.5	0.3
	対前年差(ポイント)	△ 5.4	1.0	4.6	4.3	0.7
関東・東山	重量割合	70.6	23.7	3.6	5.8	0.7
	前年値	68.0	27.9	3.3	4.3	0.8
	対前年差(ポイント)	2.6	△ 4.2	0.3	1.5	△ 0.1
東海	重量割合	63.9	29.9	5.2	6.3	1.4
	前年値	62.7	31.7	6.0	5.6	1.4
	対前年差(ポイント)	1.2	△ 1.8	△ 0.8	0.7	0.0
近畿	重量割合	66.1	26.3	4.4	7.6	0.6
	前年値	66.5	27.0	2.5	6.5	0.7
	対前年差(ポイント)	△ 0.4	△ 0.7	1.9	1.1	△ 0.1
中国	重量割合	67.6	27.8	5.4	4.7	1.4
	前年値	68.2	27.4	3.1	4.6	0.8
	対前年差(ポイント)	△ 0.6	0.4	2.3	0.1	0.6
四国	重量割合	64.8	30.8	4.0	4.6	1.8
	前年値	65.9	28.5	4.2	5.9	1.8
	対前年差(ポイント)	△ 1.1	2.3	△ 0.2	△ 1.3	0.0
九州	重量割合	61.7	32.7	3.5	5.6	1.5
	前年値	66.2	29.1	3.2	4.8	0.9
	対前年差(ポイント)	△ 4.5	3.6	0.3	0.8	0.6

注：1　作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものである(九州には沖縄県のデータを含む。)。
　　2　当該品位分析は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅(北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

10　令和元年産水稲の被害面積及び被害量（全国）

被害種類	被害面積	被害量	被害率 実数	被害率 対前年差
	ha	t	%	ポイント
冷害	80,600	12,400	0.2	△ 0.3
日照不足	1,185,000	237,600	3.0	△ 0.2
高温障害	699,200	94,100	1.2	0.0
いもち病	239,500	55,900	0.7	0.1
ウンカ	110,600	40,600	0.5	0.4
カメムシ	143,100	17,600	0.2	0.0

11　令和元年産陸稲の作付面積及び収穫量

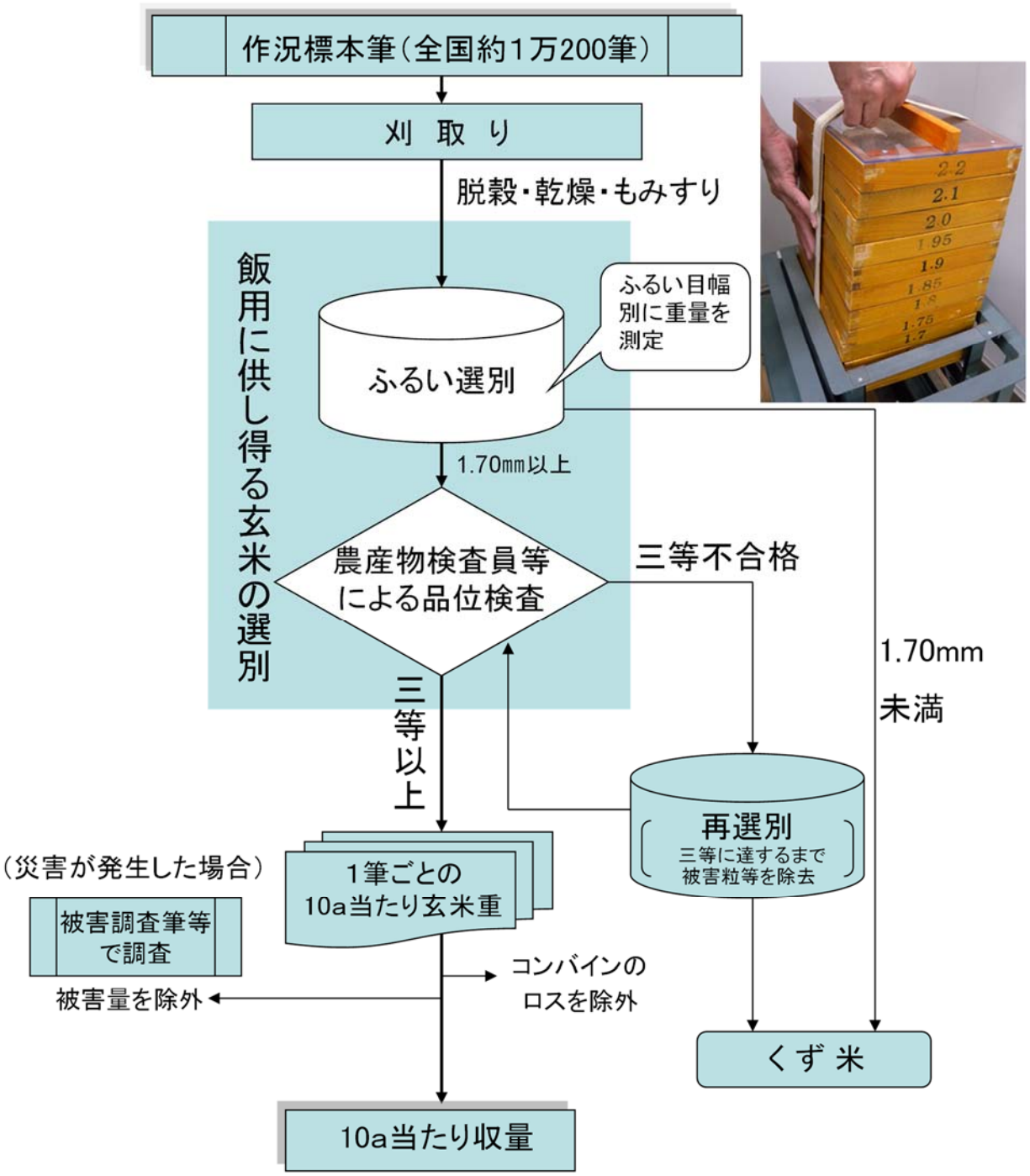
全国・都道府県	作付面積(子実用)	10a当たり収量	収穫量(子実用)	(参考) 10a当たり平均収量対比
	ha	kg	t	%
全国	702	228	1,600	97
うち 茨城	487	240	1,170	101
うち 栃木	179	211	378	91

注：1　調査は、平成29年産作付面積調査結果に基づき、全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県を調査の範囲（主産県）として実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した。
　　2　(参考) 10a当たり平均収量対比とは、10a当たり平均収量（原則として過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

【参考１】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考２】参照）ごとに一定面積の稲を刈り取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70㎜以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



【参考２】

作況標本筆（ふで）とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（１枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で１万200筆）調査している。

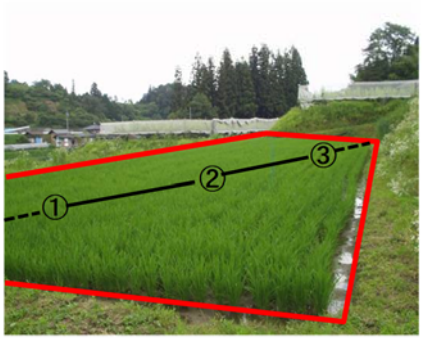
全国の全ての土地
（母集団）

１　全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）

２　標本単位区の中から無作為に１枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で１万200筆）



３　各作況標本筆の対角線上の３か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに１㎡（合計３㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1　調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び収穫量調査として実施したものであり、水陸稲の作付面積、作柄状況・収穫量等を明らかにすることにより、生産対策、需給見通しの策定、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2　調査の対象

(1)　調査の範囲

ア　作付面積調査

(ｱ)　水　稲

全国の区域

(ｲ)　陸　稲

全ての都道府県を対象とする全国調査を３年ごとに実施している（直近では平成 29 年産）。その中間年に当たる当年産にあっては、全国調査年における作付面積の全国値のおおむね 80％を占めるまでの上位都道府県を調査対象（主産県）としている。

イ　収穫量調査

(ｱ)　水　稲

全国の区域

(ｲ)　陸　稲

全ての都道府県を対象とする全国調査を６年ごとに実施している（直近では平成 29 年産）。その中間年に当たる当年産にあっては、全国調査年における作付面積の全国値のおおむね 80％を占めるまでの上位都道府県を調査対象（主産県）としている。

(2)　調査対象の選定

ア　作付面積調査

(ｱ)　水　稲

水稲の栽培に供された全ての耕地

(ｲ)　陸　稲

陸稲を取り扱っている全ての農協等の関係団体

イ　収穫量調査

(ｱ)　水　稲

水稲が栽培されている耕地

(ｲ)　陸　稲

陸稲を取り扱っている全ての農協等の関係団体。また、都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が８割に満たない都道府県については、併せて標本経営体調査を実施することとし、2015 年農林業センサスにおいて、販売目的で作付けし、関係団体以外に出荷した農林業経営体から作付面積に応じた確率比例抽出法により抽出した。

(3)　調査対象数

ア　作付面積調査

(ｱ)　水　稲

標本単位区：39,411 単位区

(ｲ)　陸　稲

	関係団体調査		
	団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①
	団体	団体	%
陸　稲	17	17	100.0

イ　収穫量調査

(ｱ)　水　稲

作況標本筆：10,178 筆　作況基準筆：479 筆

(ｲ)　陸　稲

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有　効 回収数 ②	有　効 回収率 ③=②/①	母 集 団 の大きさ ④	調査対象 経営体数 ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有　効 回収数 ⑦	有　効 回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
陸　稲	17	17	100.0	1,156	346	29.9	79	22.8

注：　有効回収数とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった関係団体及び標本経営体は含まれていない。

3　調査事項

(1)　作付面積調査

水陸稲：作付面積

(2)　収穫量調査

ア　水　稲：生育状況、登熟状況、10ａ当たり収量、被害状況、被害種類別被害面積・被害量、耕種条件等

イ　陸　稲：10ａ当たり収量及び収穫量

4　調査期日

(1)　作付面積調査

ア　水　稲：令和元年７月 15 日現在

イ　陸　稲：収穫期

(2)　収穫量調査

水陸稲：収穫期

5　調査・集計方法

(1)　作付面積調査

ア　水稲作付面積

(ｱ)　母集団の編成

空中写真（衛星画像等）に基づき、全国の全ての土地を隙間なく区分した 200m四方（北海道にあっては、400m四方）の格子状の区画のうち、耕地が存在する区画を調査のための「単位区」とし、この単位区の集まりを母集団（全国約 290 万単位区）としている。

単位区は、区画内に存する耕地の筆（けい畔等で区切られた現況一枚のほ場）について、面積調査用の地理情報システムにより、地目（田又は畑）等の情報が登録されている。

母集団は、ほ場整備、宅地への転用等により生じた現況の変化を反映するため、単位区の情報を補正することにより整備している。

(ｲ)　階層分け

調査精度の向上を図るため、母集団を各単位区内の耕地の地目に基づいて地目階層（「田のみ階層」、「田畑混在階層」及び「畑のみ階層」）に分類し、そのそれぞれの地目階層について、ほ場整備の状況、水田率等の指標に基づいて設定した性格の類似した階層（性格階層）に分類している。

(ｳ)　標本配分及び抽出

都道府県別の水稲作付面積が的確に把握できるよう階層ごとに調査対象数を配分し、系統抽出法により抽出する。

(ｴ)　実査（対地標本実測調査）

抽出した標本単位区内の水稲が作付けされている全ての筆について、１筆ごとに作付けの状況及びその範囲を確認する。

(ｵ)　推定

面積調査用の地理情報システムを使用して求積した「標本単位区の田台帳面積の合計」に対する「実査により得られた標本単位区の現況水稲作付見積り面積の合計」の比率を「母集団（全単位区）の田台帳面積の合計」に乗じ、これに台帳補正率（田台帳面積に対する実面積の比率）を乗じることにより、全体の面積を推定している。

$$\text{推定面積} = \frac{\text{標本単位区の現況水稲作付見積もり面積合計}}{\text{標本単位区の田台帳面積合計}} \times \text{全単位区の田台帳面積合計} \times \text{台帳補正率}$$

(ｶ)　その他

遠隔地、離島、市街地等の対地標本実測調査が非効率な地域については、職員による巡回・見積り、情報収集によって把握している。

イ　陸　稲

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。集計は、関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

なお、本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国値については、全国調査を行った平成 29 年産の調査結果に基づき、次により推計した。

全国値＝主産県の作付面積の合計値＋主産県以外の都道府県（非主産県）の作付面積（X）の合計値

X：平成 29 年産における非主産県の作付面積の合計値×作付面積の変動率（y）

y：当年産における主産県の作付面積の合計値÷平成 29 年産における主産県の作付面積の合計値

(2)　収穫量調査

ア　水　稲

(ｱ)　母集団

(1)のアの(ｲ)により、田のみ階層及び田畑混在階層に分類される単位区を母集団としている。

(ｲ)　階層分け

都道府県別に地域行政上必要な水稲の作柄を表示する区域として、水稲の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割した区域を「作柄表示地帯」として設定し、この作柄表示地帯ごとに収量の高低、年次変動、収量に影響する条件等を指標とした階層分けを行っている。

(ｳ)　標本配分及び抽出

都道府県別に配分された標本数を階層別に比例配分する。

階層別に配分された標本数を単位区の水稲作付面積（田台帳面積）に比例した確率で抽出する確率比例抽出法（具体的には単位区を水稲作付面積（田台帳面積）の小さい方から順に並べ、田台帳面積の合計を標本数で除した値の整数倍の値を含む単位区を選ぶ方法）により標本単位区を抽出する。抽出された標本単位区内で、水稲が作付けされている筆から１筆を無作為に選定し、作況標本筆（実測調査を行う筆）とする。

(ｴ)　作況標本筆の実測

作況標本筆の対角線上の３か所を系統抽出法により調査箇所に選定し、株数、穂数、もみ数等の実測調査を行う。

(ｵ)　10ａ当たり玄米重の算定

各作況標本筆について、一定株数（１m^2分×３か所の株数）の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、飯用に供し得る玄米（農産物規格規程（平成 13 年２月 28 日農林水産省告示第 244 号）に定める三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が 1.70㎜ 以上であるもの）となるように選別し、10ａ当たり玄米重を決定する。

(ｶ)　10ａ当たり収量の推定

各作況標本筆の 10ａ当たり玄米重を基に、都道府県別の 10ａ当たり玄米重平均値を推定し、これにコンバインのロス率（コンバインを使用して収穫する際に発生する収穫ロス）や被害データ等を加味して検討を行い、都道府県別の 10ａ当たり収量を推定する。

さらに、作況基準筆（10ａ当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の基準とするものとして有意に選定した筆をいう。）の実測結果及び特異な被害が発生した際に設置する被害調査筆の実測結果を基準とした巡回・見積り並びに情報収集による作柄及び被害の見積りによって推定値を補完する。

(ｷ)　収穫量及び被害量

作況標本筆の刈取り調査結果から推定した 10ａ当たり収量に作付面積を乗じて収穫量を求める。

被害量は、農作物に被害が発生した後、生育段階に合わせて被害の状況を巡回・見積りで把握する。また、特異な被害が発生した場合は、被害調査筆を設置して調査を実施し把握する。

イ　陸　稲

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体（2015年農林業センサスにおいて調査対象作物を販売目的で作付けし、関係団体等以外に出荷した農林業経営体から無作為抽出したもの）に対する往復郵送調査によって行った。

なお、収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた作付面積及び収穫量を基に算出した10ａ当たり収量（関係団体調査にあっては、標本経営体調査結果による自家消費等の量を勘案して算出）を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに作付面積を乗じて算出している。

なお、本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国値については、全国調査を行った平成 29 年産の調査結果に基づき、次により推計した。

全国値＝平成 29 年産における全国の収穫量×主産県の収穫量の比率（X）

X：当年産の主産県の収穫量÷平成 29 年産における主産県の収穫量

６　実績精度

作付面積調査の対地標本実測調査における水稲作付面積、水稲収穫量調査の標本実測調査における10ａ当たり玄米重及び陸稲収穫量調査における10ａ当たり収量に係る調査結果（全国）の実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、次のとおりである。

なお、陸稲の作付面積については、関係団体に対する全数調査結果を用いて算出しているため、目標精度を設定していない。

	水　稲		陸　稲
	作付面積	10ａ当たり玄米重	10ａ当たり収量
標準誤差率(%)	0.35	0.15	4.82

７　用語の解説

(1)　「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（ＷＣＳ用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。

(2)　「作況指数」とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米を基に算出していたが、平成27年産以降の作況指数は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（全国農業地域の表章区分及び目幅は次表のとおり）。

全国農業地域名	所　属　都　道　府　県　名	農家等使用目幅
北　海　道	北海道	1.85㎜
東　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	1.85㎜
北　陸	新潟、富山、石川、福井	1.85㎜
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野	1.80㎜
東　海	岐阜、静岡、愛知、三重	1.80㎜
近　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	1.80㎜
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1.80㎜
四　国	徳島、香川、愛媛、高知	1.75㎜
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	1.80㎜
沖　縄	沖縄	1.75㎜

(3)　「10ａ当たり平年収量」とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10ａ当たり収量をいう。

(4)　「10ａ当たり平均収量対比」とは、10ａ当たり平均収量（原則として過去７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値）に対する当年産の10ａ当たり収量の比率をいう。

(5)　「被害面積」とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量から減収した面積をいう。

(6)　「被害量」とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に穫れ得ると見込まれる収量より減収した量をいう。

(7)　「被害率」とは、平年収量（作付面積×10ａ当たり平年収量）に対する被害量の比率をいう。

８　その他

沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

これを含め、この資料の確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和２年２月予定）するとともに、その後刊行する『耕地及び作付面積統計』及び『作物統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

○　各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/ 】

この結果は、分野別分類「作付面積･生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞政策統括官

http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/

お問合せ先

◎本統計調査結果について

・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話 ：（代表） 03-3502-8111　内線3681

（直通） 03-6744-2045

FAX ： 03-5511-8771

・収穫量に関すること

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話 ：（代表） 03-3502-8111　内線3682

（直通） 03-3502-5687

FAX ： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話 ：（代表） 03-3502-8111　内線3589

（直通） 03-6744-2037

FAX ： 03-3501-9644

政府統計

政府統計の総合窓口

（e-Stat）

http://www.e-stat.go.jp/

農林業センサス

令和２年２月１日現在で、2020 年農林業センサスを実施します。

○農林業経営体調査（令和元年 12 月中旬～令和２年２月末）

○農山村地域調査（令和元年 12 月上旬～令和２年２月末）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。